

東京電力(株)福島第一原子力発電所の廃止措置等研究開発の加速プラン（概要）

～研究開発・人材育成拠点「廃炉国際共同研究センター」の構築～

東京電力福島第一原子力発電所の安全な廃止措置等を推進するため、国内外の英知を結集し、安全かつ確実に廃止措置等を実施するための先端的技術研究開発と人材育成を加速する。

○平成27年4月より日本原子力研究開発機構内にセンターを立ち上げ。**平成28年度より本格運用。**

（Ⅰ）国内外の英知を結集する場の整備

○廃炉国際共同研究センターの整備

- 多様な分野の国内外の大学、研究機関、企業等が集結する場を東電福島第一原子力発電所近傍に構築。
- 100名から150名規模の研究者等の参画による本格運用を目指す。
- なお、拠点の整備までは、原子力機構の既存施設等を活用し、研究開発を実施。

（Ⅱ）国内外の廃炉研究の強化

○国内外の英知を結集するための研究開発の実施

- 燃料デブリの取扱いや廃棄物処理処分、環境安全等について、国内外の大学・研究機関等が、拠点を中心として行う国際共同研究活動等を支援。

○原子力機構自ら行う研究開発の強化

- 廃炉等に係る優れた研究者の招へいや国際協力等による、国内外の英知を結集した新たな研究体制の下で、炉内状況把握手法の開発やデブリ性状評価等の廃炉研究を加速。

（Ⅲ）中長期的な人材育成機能の強化

○廃止措置に関する人材育成プログラムの強化

- 東電福島第一原発の廃炉安全かつ着実に廃炉を進めていく上で必要となる人材育成を加速。
- 国内外の大学や民間企業の連携による国際的な産学連携講座を福島県内に設置。

（Ⅳ）情報発信機能の整備

○東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に関する情報発信機能の整備

- センター内で得られた廃炉の加速に資する研究開発でデータ等の整備・公開に係る基盤の整備（システム検討）